

2019年9月13日
株式会社 Libry

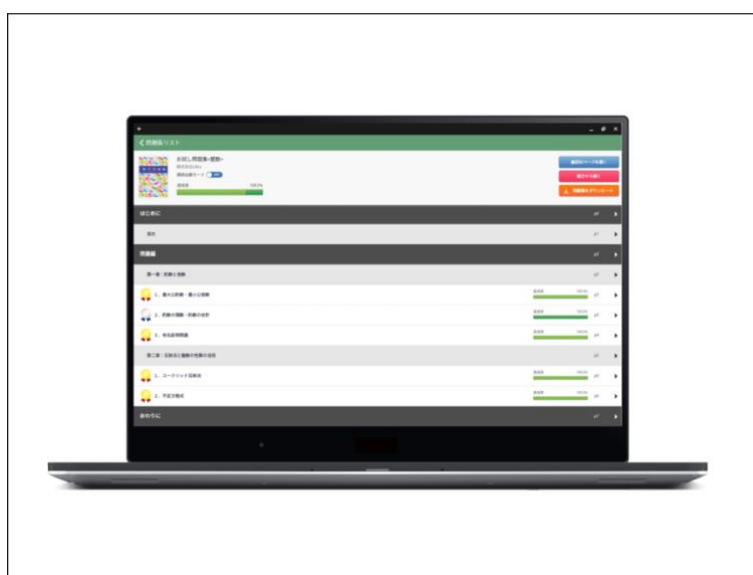
中高生向けデジタル問題集のリブリー、 関西教育 IT ソリューション EXPO (EDIX 関西) の Google for Education™ ブースに出展

中高生向けデジタル問題集「Libry (リブリー)」を開発、提供する株式会社 Libry (リブリー、本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：後藤 匠、以下リブリー) は、2019年9月25～27日にインテックス大阪で開催される「第3回関西教育 IT ソリューション EXPO (EDIX 関西)」の Google for Education ブースに出展します。

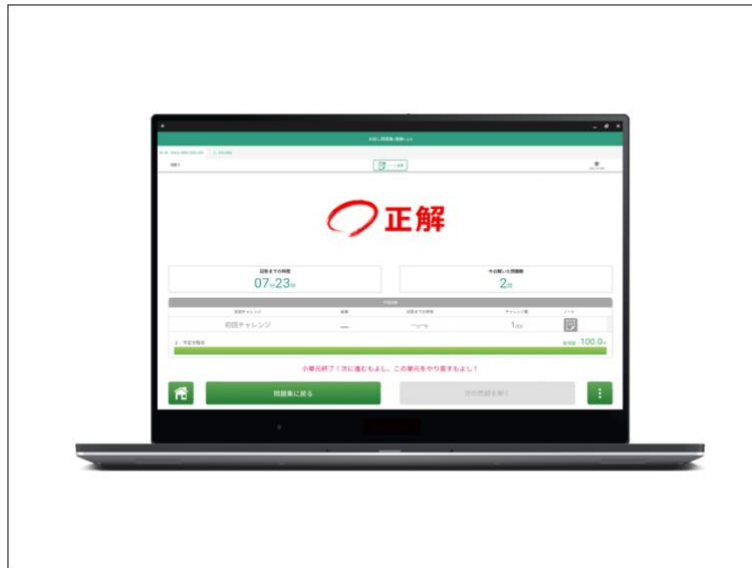
ブースでは、最新の Chromebook™ で中高生向けデジタル問題集「リブリー」をご体験いただくことができます。また、Chromebook で「リブリー」をご利用いただいている学校の事例をご紹介します。

■ 中高生向けデジタル問題集「リブリー」について

「リブリー」は、出版各社が発行している既存の問題集をデジタル化し、生徒一人ひとりの学習履歴に基づいたアダプティブラーニングができる中高生向け学習プラットフォームです。2017年に「リブリー」のタブレット版とブラウザ版を、2019年3月にスマートフォン版をリリースしました。現在は数学、英語、物理、化学、生物の5科目に対応しており、トライアルでの利用を含めると全国で数百の中学校・高等学校で活用されています。生徒向けコンテンツと合わせて、教員向けに「リブリー」の学習履歴や宿題の実施状況を確認するための管理ツールも提供しています。



図：Chromebook での「リブリー」イメージ (目次)



図：Chromebook での「リブリー」イメージ（正誤結果）

<「リブリー」の特徴>

1. 出版各社と提携することで、信頼と実績のある問題集をそのままデジタル化しています。
2. 一人ひとりの学習履歴に基づいて最適な問題を提示することで、応用力の強化、記憶の定着、弱点の補強を図ります。
3. 「紙のノートとペンを使って勉強する」という学習スタイルはこれまでのまま、学習効率を高めます。

これらのサービスを通じて、社会問題となっている「重たい通学カバン」や「教員の長時間労働」などの課題解決に貢献しております。実際に活用いただいている中学校・高等学校の現場から、「通学カバンが軽くなった」「教員の残業時間が1日あたり1~2時間削減された」という声も寄せられています。

<https://libry.jp/>

※Google for Education、Chromebook は、Google LLC の商標です。

■第3回 関西教育 IT ソリューション EXPO 開催概要

関西教育 IT ソリューション EXPO は、大学、小・中・高校、教育委員会、塾・予備校、専門学校などの職員、教員が来場する教育分野日本最大の ICT 総合展です。ICT 機器、デジタル教材、業務支援システム、e ラーニングなどが一堂に展示され、授業・講義や学校業務における ICT 環境向上のための比較検討、模擬授業・デモ体験、導入のための相談が行われます。

- ・会期：2019年9月25日（水）～27日（金）10：00～17：00
- ・会場：インテックス大阪
- ・主催：リード エグジビション ジャパン株式会社
- ・公式サイト：<https://www.edix-osaka.jp/ja-jp.html>

■株式会社 Libry について

2012 年の設立以来、EdTech（教育×ICT）スタートアップとして、「一人ひとりが自分の可能性を最大限に発揮できる社会をつくる」をビジョンに掲げ、中高生向け学習プラットフォーム「Libry（旧：ATLS）」を開発、提供しております。

- 会社名：株式会社 Libry
- 代表取締役 CEO：後藤 匠
- 設立：2012 年 5 月
- 所在地：東京都千代田区神田錦町 2-1-8 竹橋ビル 10 階
- 社員数：18 名
- 備考：第 69 号東京工業大学発認定ベンチャー企業、日本イーラーニングコンソシアム正会員
- 企業サイト：<https://about.libry.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 Libry 広報担当：青山 E-mail：pr@libry.jp